

二〇一二年五月一四日

鶯の鳴きつぐ道を奥院へ  
新緑や一直線に御所通り  
ひらがなのスコアボードやこどもの日  
退院の家居安らぐ夏初め  
太陽の軌道正しく夏の海  
ご開帳合はす手解かぬ嫗かな  
漣の代田にゆがむ山の影  
苑めぐるどの道とも若葉萌ゆ  
行厨は風車の丘の薰風裡  
暮れなずむほどにしるきは鉄線花  
配達夫来て子燕のへの字口  
風薰る野外授業の黄色帽  
心字池ふちどりて燃ゆ躑躅かな

新樹光高層ビルの窓に映ゆ

ほんこ

編み込みの子の大びし新樹影

素秀

新緑や一直線に御所通り

ほんこ

山藤を揺らし入線一両車

愛正

退院の家居安らぐ夏初め

十九

ミルトスの花も、白やみどりの日  
石段にジャンケンポンや柿若葉

九月

ご開帳合はす手解かぬ嫗かな

なつめ

毎週句会秀句・みのる選・一〇二年五月一五日

20

苑めぐるどの道とるも若葉萌ゆ

は  
く  
子

行風は風車の丘の薰風裡

13

暮秋之日

१५

配達夫来て子燕のへの字口

素秀

風薫る野外授業の黄色帽

愛  
正

心字池ふちどりて燃ゆ躑躅かな

わ  
か  
ば